

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

2025年
1月発行

No. 196

リビング・ウイル

「死の権利協会世界連合 ダブリン大会」レポート 2026年の 東京大会が決定!!

○年頭所感・北村義浩理事長

○連載・電話・メール医療相談から

○連載「四季の歌」雪の降るまちを



公益財団法人
日本尊厳死協会

JAPAN SOCIETY FOR DYING WITH DIGNITY



【年頭所感】

協会創立50周年に向け 世界大会、法制化： などの活動に取り組む



(公財)日本尊厳死協会理事長
北村義浩

撮影/水村 孝

新年明けましておめでとうございます。
公益法人としての日本尊厳死協会は6年目の春を迎えます。令和5年6月に岩尾總一郎前理事長(現名誉会長)から理事長を引き継ぎ2回目の新年になります。役職員一同、心を新たに業務を遂行して参ります。
本協会は来年の2026年、節目の50周年を迎えるにあたり、さまざまな記念行事を計画しています。そ

の一つとして「死の権利協会世界連合」の「東京大会2026」を11月に東京で開催します。世界30か国から死の権利に関する60の団体のメンバーが参加いたします。世界の終末期ケアについて俯瞰すると同時に、アジア特有の死の考え方などについても議論を深める予定です。

協会が発行している事前指示書(リビング・ウィル≡LW)は、本人の自律性に基づく終末期医療に備え

た意思表示書として、社会的に高く評価されております。このLWが法的に担保されて、事前に意思を表明する「人生の終い方」をなるべく早く事前指示書尊重法制化として取り入れてもらうように、国会議員の皆さんへの働きかけをより活発に進めていきたいと思っています。

さて、協会に登録していただいている会員数ですが、現在8万人弱で、10年前の約12万人から大幅に減少し

ています。協会は2000円の年会費によって運営しておりますので、会員減少による収入減は協会活動を大きく制限することになります。協会活動を維持拡大するためには、年会費のほかに、ご寄付やご遺贈などによる運営資金の確保も強化して参らなければなりません。協会への寄付につきましては税制上の優遇措置もあります。ご自身の大切な資産を未来の社会の役に立つように活用してほしいとお考えの方は、協会にご相談いただけましたら幸いです。

啓発活動をさらに パワーアップしたい

長引くコロナ禍で講演会などの開催が難しかったこともあり、LWの普及啓発活動が十分に行われませんでした。それを補完するために「MY LIFE! MY CHOICE!!」という尊厳死の啓発ラジオ番組を作りました。このラジオ放送は多くのリスナーの皆さんに支えられて好評でしたが、一定の区切りが過ぎましたので、今後は協会独自の発信として

さらにパワーアップして啓発活動を継続して実施して参ります。

協会はまた、会員の皆さまの最期がどのようなか、LWがどう役立つかを、ご遺族の方から伺ってデータベース化し、「小さな灯台プロジェクト」として公開しております。この内容をより多くの皆さんに知ってもらえるように、中央公論新社の月刊誌「婦人公論」に「よりよく生きる 道標〜みちしるべ〜」を連載しています。その中で、貴重な看取り体験を読者の皆さまと共有しています。

協会のホームページ (<https://songenshi-kyokai.or.jp/>) には、尊厳死に関する国内外の最新情報、協会受容医師の案内、「小さな灯台プロジェクト」など、多くのコラムを掲載しています。これからも、より活発に情報を発信していこうと思っています。

協会への一層のご支援をお願い申し上げますとともに、年頭にあたり、会員の皆さまのご健勝をお祈りいたします。

2026年の

東京大会が決定!!

—日本での開催は第1回を含め4度目—

隔年で開催されている「死の権利協会世界連合大会」が、アイルランドのダブリンで2024年9月19〜21日に開かれました。日本尊厳死協会からは北村義浩理事長はじめ、満岡聰、上別府圭子、神馬幸一の各理事が出席し、次回2026年に開催される

「第26回大会」の日本招致活動を行い、東京開催が満場一致で決まりました。この「世界連合大会」は1976年に第1回が東京で開催され、以後、92年の京都(第9回)、2004年の東京(15回)と、これまで日本で3度開かれ、次回が4度目になります。以下、ダブリンでの大会の模様を含めリポートします。



大会会場となったダブリンのロイヤルマリンホテル

会場はダブリンの郊外、車で20分ほどの別荘地のようなところにあるクラシックな感じのロイヤルマリンホテルでした。大会前夜の18日、夕方の2時間、死の権利協会世界連合の理事(ボード)7人による会議が行われ、理事の北村理事長が出席。終了後に連合のメンバーやボードメンバーで会食。

70人ほどが参加して、主要な議事、予算の決算、さらに理事の選挙や次回開催地の選挙などが行われました。北村理事長が日本招致に向けたスピーチを行い、その間、満岡・上別府両理事が日本のポストカードや東京案内のパンフレット等を配布しました。「会場は、北村理事長の招致スピーチと、引き続き映された東京を紹介する動画に引き込まれ、早くも日本開催を待ち望んでいるような印象でした。配布しながら10人ほどと話しました

が、皆、東京に行くと言っていたさました」と満岡理事。「緑とオレンジのフラッグ(旗)を渡されて賛成なら緑ということで、私は緑を上げました」と神馬理事。「満場一致で日本開催が決まったと認識しています」と上別府理事も振り返ります。

開催準備委員会を発足させ対応

午後は各国からの報告という形で進められました。実際は「認知症と安楽死」に関して、各国から様々な意見や問題点の指摘・提起がなされることに終始しました。難しいテーマだけに、特に具体的な解決策や方向性が示されるということ



(上)北村理事長によるWFRtDS東京招致演説
(中・下)各国の参加者と貴重な機会を利用した懇談



はありませんでした。各国が真摯に取り組んでいる実情が伝わってきました。

大会は初日が世界連合主催で、2日目、3日目がアイルランド協会主催。2日目、3日目は、初日よりやや大きな部屋に用意された20ほどの円卓に100人程度が参加してのカンファレンス。「プログラム構成などが学術的という雰囲気ではなく、参加者も一般の方が多いという印象でした」と満岡理事。2日目、3日目とも6人が持ち時間8分内に安楽死、尊厳死等に関する発表を行いました。全体を通しての印象として北村理事長は「東京では、聴衆や参加者は一般の方々だけではなく、医師なり医療従事者なりサイエンティストの方々の学びの場になってほしいと思っているので、そういう認識で東京大会を進めていきたいと思っています」。満岡、神馬、上別府の各理事は「日本の学会のように系統的にまとめ上げるということではなく、各国各人の自由な意見を発表する」というような感じでしたが、開催国アイルランドの熱意のようなものは感じました」と大会を振り返ります。

今回のダブリン大会の貴重な参加経験を生かしながら「2026年東京大会」をどう進めていくか、10月には招致委員会から開催準備委員会に名称を替えて、具体的な取り組みがすでに始まっています。

当初から「安楽死」とは一線

「尊厳死法」という後ろ盾を得られるよう活動強化

2年後の「2026年東京開催」が、秋のダブリン会議で決まりました。

「死の権利協会世界連合」とのこれまでの関わりや

「リビングウイル」をめぐる世界の情勢、

「安楽死」に対する各国の対応と日本の現状、

協会の基本的スタンス等について、

「尊厳死」に厚生省(現・厚生労働省)時代から深く関わってきた

岩尾総一郎・日本尊厳死協会名誉会長(前理事長)に聞きました。

「安楽死とは一線」「尊厳死法制化へ向けさらなる深化を」と語ります。



岩尾総一郎・名誉会長／撮影・水村 孝

——「死の権利協会世界連合」の第1回国際会議は日本で開催されたんですね。

岩尾 そうなんです。今の日本尊厳死協会の前身である「日本安楽死協会」が設立されて間もない1976年8月に、アメリカ、イギリス、オランダなどの国々からの招待者12人、国内代表19人からなる国際会議が東京で開催されました。ですから今回、アイルランドのダブリンで招致活動を行い決定した2年後の2026年東京大会は、それからちょうど50年という節目になるわけですね。

画期的だったカレンさんの裁判

——その第1回大会では、どんなことが話し合われたんですか？

岩尾 アメリカ代表は、この年の3月にあった「カレンさんの尊厳死裁判」で死の権利を初めて認めた判決などについて話しました。

ました。そしてこの7年後の1983年に、当協会も名称を「日本安楽死協会」から「日本尊厳死協会」に変えています。

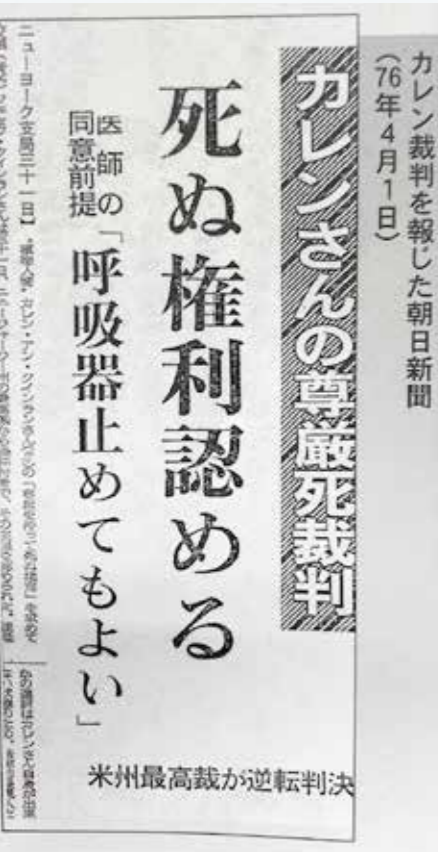
——そういう流れでしたか。第1回大会で、ほかの国々はどんなことを話されましたか。

岩尾 イギリス代表は「安楽死の立法化には世論の喚起と支持が必要」と述べ、オランダ代表は「消極的安楽死は個人の権利と考えられているが、積極的安楽死には問題がある」と指摘しています。

——大会では「東京宣言」も出されましたね。

岩尾 そうです。「東京宣言」として、「終末期における死の選択は自己決定にゆだねられる」「事前指示書であるリビングウイルは個人の権利である」「立法化への努力をする」「情報交換のための連絡センターを設置する」ことなどが発表されました。「2年ごとに持ち回りで国際会議を開くこと」も同時に決まりました。会議名称も「死の権利協会世界連合国際会議」とし、その後参加国を増やしてきています。日本では1992年に京都、2004年に東京と、これまで3回開催しています。

——この会議のいわば核心といえますが、事前指示書つまりリビングウイルですが、今の世界の状況を教えてください。



カレンさんの尊厳死裁判を報じた朝日新聞の記事(「協会30年の歩み」から)

カレン裁判を報じた朝日新聞(76年4月1日)

カレンさんの尊厳死裁判

死ぬ権利認める

医師の「呼吸器止めてもよい」同意前提

米州最高裁が逆転判決

——「死の権利」というと、どうしても安楽死を思い浮かべる人が多いと思います。岩尾 そういう人が多いかとは思いますが、安楽死に関する法制度は、事前指示書(リビングウイル)とは異なる枠組みが必要なんだということを強調したいと思います。オランダやベルギー、スイス、カナダ、それからアメリカの一部の州では「安楽死」や「医師による介助死」を一定の条件下のもと合法化していますが、日本をはじめ多

安楽死法には別な枠組みが必要

岩尾 日本では、この事前指示・リビングウイルに関する法的枠組みは、いまだ議論の途上ですね。

——ずいぶん広範ですね。

岩尾 日本はどんな状況なんですか？

私の希望表明書 ①

【記入は任意です。書きたい時がきたら記入してください。迷う場合は書かなくてもよいです。】
リビング・ウィル3箇条に加え、私の思いや人生の最終段階における具体的な医療に対する要望にチェックを入れました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 年 月 日 本人署名

希望する医療措置について

- 点滴
- 輸血
- 酸素吸入
- 人工呼吸器装着
- 人工透析
- 抗がん剤
- 心肺蘇生
- 昇圧剤や強心剤

希望する栄養や水分補給

- 口から入るものだけを食べさせてほしい
- 状態に応じた少量の点滴
- 胃ろうによる栄養
- 経鼻チューブ栄養
- 中心静脈栄養

緩和ケア

- 医療用麻薬や鎮静薬も使用して、痛みを感じることがないように十分な緩和ケアを行ってほしい
- 肉体的な苦痛だけでなく、精神的・社会的な痛みへのケアも行ってほしい
- 私の死に直面し、喪失感と悲嘆に暮れる人々への精神的・社会的なケアを行ってほしい

意思の疎通ができなくなったとき

- リビング・ウィルと「私の希望表明書」だけでは判断しきれない場合は、私の代諾者や医療・ケアに関わる関係者が繰り返し話し合い、私の最善を考えてください
- 私が少しでも意思表示をする場合は、その意図をくみ取る努力をお願いします

最期の過ごし方

- 場所
- 自宅(自分の家・子供の家・孫の家・親戚の家:具体的な名前 _____)
 - 自宅以外(_____)
 - 高齢者施設の居室
 - 介護施設
 - 病院
 - ホスピスや緩和ケア病棟
 - 分からない
 - その他(_____)

誰と(ペットの名前を書かれても結構です)

1. _____
2. _____
3. _____

どのように



ダブリン大会での会議はすべて英語で行われ、同時通訳などはなかった



第9回京都大会の様子。15カ国19団体の代表はじめ約900人が会場を埋め、同時通訳が活躍した(「協会30年の歩み」から)

終末期のすべての人の希望が叶えられるよう

「このところ日本では、法律のあるなしにかかわらず、終末期患者の意思を尊重するという大きな流れになってきていますよね。」

岩尾 そういう流れですね。これまでに比べて過剰な延命措置は控えられるようになりました。しかし、それはACP(人生会議)という医療ケアチームによるガイドラインに沿って現場で決められるにとどまっているのではないのでしょうか。「人生の最終段階」を迎えるすべての人の希望や意思が叶えられるというものはありません。

すべての国民が、法律という後ろ盾を得られるよう、日本尊厳死協会はこれからも活動してまいります。第1回国際会議の原点である「東京宣言」に立ち返り、日本においてリビング・ウィルの法制化が進むよう、この国際会議を通じて今後も訴えていきたいと思っております。会員の皆さまには国際会議の開催趣旨をご理解のうえ、ご支持とご賛同をいただけますようお願いいたします。

(聞き手・会報編集 郡司 武)

「日本尊厳死協会は「安楽死」とは線を画しているということですね。」

岩尾 そういうことです。当協会は設立当初から「尊厳死法制化」を目的の一つとし、その基本的姿勢として、何よりも延命第一主義だった当時の社会に対して、

自己決定権に基づく「延命措置の不開始と中止の法的担保」「医師の免責」を掲げています。日本も外国の国々と同様に「尊厳死法(リビング・ウィル法)」を法制化すると約束し、会員はこうした私たちの理念に賛同して協会に入会し、支え続けてきてくれます。

LWのひろば

一人暮らしの日々

野崎田鶴子 91歳 愛知県

詩人・茨木のり子の詩集にめぐり合っ、「歳月」に収録された「急がなくては」と題された詩の一節を口ずさみつつ、したためております。

急がなくてはなりません
静かに 急がなくてはなりません
感情を整えて あなたのもとへ
急がなくてはなりません
あなたのかたわらで眠ること
ふたたび目覚めない眠りを眠ること
それがわたくしたちの成就です

一人になって40余年、1年に1度くらい男の孫が訪ねてまいります。
浜木綿の鉢を届けし孫ならば、その心根の愛しかるらむ

リビング・ウィルを心の支えといたしつ、老いて心の闇をになわず、しらじらと明けゆく夜をよるこび、心の糧としてゆかしく己の足で歩んでゆく日々でありたいと願っております。

長い夫婦の短い別れ

矢野千代 88歳 埼玉県

主人は、かかりつけ医での定期健診で間質性肺炎の兆候がレントゲンに写っていると聞かれました。なんの自覚症状もないまま迎えた半年後の再検査で、その病巣は肺の下から上部に広がっていました。この頃から「長く歩くと疲れる」「息苦しい」と言い出し、呼吸器専門病院に入院しました。その際「いよいよの時は大きな酸素の機材につながないでほしい。ただしモルヒネは使ってほしい」

かすかな希望！
凍てつく厳しい朝の
空気を刺すように
光が満ち、降り注ぐ



後の瞬間まであきらめないで手を尽くすのが当然という環境で育ってききました。その後、緩和ケア病棟勤務も経験し、現在は一般内科医として、いわゆる「人生の最終段階」に近づき

つつある患者さんを多く診させていただいています。これからも、多死社会の真ただ中で、「ご本人、ご家族、そして病院スタッフとともに精一杯向き合っていきたいと思っております。

と医師に頼む気丈な90歳の主人でした。

その呼吸器専門病院に入退院を繰り返すうちに、主治医から循環器専門病院への転院を勧められ、救急車で転院。即検査を受け、数時間後に検査結果の説明がありました。大きなモニターを見ながらの説明のあと医師が一言、「もつても4日くらいです」。その言葉に私は、娘の肩に手を預け、やっと立ち上がることができました。医師は淡々と続けます。

「気丈なご主人で「私は尊厳死協会会員です。延命のためのチューブは付けなくてください」と言いましたので「私は医師として緩和医療の介入はいたします」と応えました。

4日目の面会時、酸素マスクのおかげで荒い息づかいもなかったのですが「今日は昼ごはんが食べられなかったよ」と言います。珍しいことでした。「明日また3時に来るわね」と言い、お互いに手を握り、手を振って病室を出ました。その夜の9時に病院から「すぐご家族の皆さん、集まってください」。

広い部屋の三方にカーテンが掛かり、主人はマスクをしたまま寝込んでいるように見えました。

協会に終活事業を提案

杉山友一 89歳 東京都

尊厳死協会は「健やかに生き、安らかな最期を」と掲げていますが、現下の日本社会では、団塊の世代の高齢化と相まって、増加の一途をたどる「おひとり様」に向けた終身サポート問題が深刻化しています。

そうした中で、病院や施設への身元保証から死後のことまで「すべてをお引き受けします」という民間事業者の方がたが、活発に営業活動を展開しています。しかしながら、「おひとり高齢者」の側からすれば、生前に全財産をオープンにし、預託金等を委ねた先が看板通りに永続的に成果を収められるのか、という不安は絶えず付きまといまいます。

そこで提案です。近年、会員減少が見て取れる尊厳死協会が公益財団法人の信用度をもって経営の歩を進め「おひとり様終身保証事業」を展開していただけないかということですね。日本社会全体に光を放ち、協会の会員増強にもつながると思えます。尊厳死協会を通じた「人生一貫通貫」の広い議論の展開を期待しています。

父との別れを機に

田中 宏 65歳 大阪府

一昨年の2月に父を亡くしました。92歳の誕生日を目前にし、「ちよっとしんどい」と言いながらも2人のひ孫に囲まれてお好み焼きパーティーを楽しんだ翌日、私の勤める病院に入院し、私がいったん帰宅している間に、そっと旅立ちました。

主治医として入院指示とともに「DNAR（心肺蘇生をあえて行わないこと）の意思確認書（同意書）」を作成していただきましたので、当直医はそのままDNARを実践してくれました。父は身体機能こそ若干衰えていましたが、頭は明晰で認知症のかけらもありませんでした。10年前に腹部大動脈瘤が破裂したものの緊急手術のおかげで奇跡的な生還を遂げた父は、その時のICUでの経験がよほど辛かったらしく、「今度なにかあっても延命治療は不要」と私に伝えていました。父の死後、愚息医としてずっと自責の念を拭えきれないなかではありましたが、日本尊厳死協会の存在を知り、入会させていただいた次第です。

もともと私は肝胆脾外科医で、最

お力をお貸しください！

会員の方々から「ひろば」への投稿やメールで、当協会の「PR不足が残念」といった声が届いています。「声かけに協力します」と申し出てくださる方もおります。協会では入会勧誘のチラシ（写真）を用意しておりますので、送り先と枚数を協会本部までお知らせいただければ、すぐにお送りいたします。会員のみならずのお力をお貸しください。



編集部より

- 投稿の募集 テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの日々」など何でも構いません。600字以内で。掲載（写真含む）の方には図書カードを差し上げます。手紙またはファクス（03-3818-6562）、メール（info@songenshi-kyokai.or.jp）で。
- 写真の募集 4月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信（アドレスは同上）、またはプリントを郵送してください。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは2月15日です。

※ホームページにも掲載させていただきますので、ご了承ください。

季節を感じさせる1枚の写真と
懐かしい唱歌などでつづるページです

四季の歌

— その風景と背景 —

第三十回

雪の降るまちを

内村直也 作詞
中田喜直 作曲



雪の降るまちを 雪の降るまちを

思い出だけが通り過ぎて行く

雪の降るまちを

遠い国から落ちてくる

この思い出を この思い出を

いつの日か包まん

暖かき幸せの ほほえみ

雪の降るまちを 雪の降るまちを

足音だけが追いかけて行く

雪の降るまちを

一人ころろに満ちてくる

この悲しみを この悲しみを

いつの日かほぐさん

緑なす春の日の そよ風

雪の降るまちを 雪の降るまちを

息吹とともにこみ上げてくる

雪の降るまちを

誰もわからぬわが心

このむなしさを このむなしさを

いつの日か祈らん

新しき光り降る 鐘の音

(1952年、NHKのラジオ放送が初出)

戦後の荒廃した時代に「幸福とは何か」をテーマにしたNHKのラジオドラマ「えり子とともに」の挿入歌として生まれた。作詞した劇作家・内村直也(1909～1988年)は、都会に住む人たちの雪への憧れや雪のもつ幻想的なイメージを15分ほどで書き上げたという。詞を受け取った中田喜直(1923～2000年)も短時間で曲に仕上げたとされる。曲想は、中田がたびたび訪れていた知人の住む山形県鶴岡市で経験した「雪の降る夜の情景」とされ、今も鶴岡市では毎年冬に行われる「鶴岡音楽祭」でフィナーレに歌われている。

ラジオドラマで歌われて評判となり、シャンソン歌手・高英男の歌唱でレコードも制作されヒットした。その後、立川澄登やダークダックスなどによって歌われ、雪の季節の日本を代表する曲となっている。途中、「遠い国から落ちてくる」のところで単調から長調に転調する。雪が止み、やがて暖かく明るい光が降り注いでくる……。

東北支部

☎ 022-217-0081 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.or.jp

第52回「リビング・ウイル
交流サロン」

日程◎ 1月24日(金) 午後2時～3時半(予定)

会場◎ 仙台市民活動サポートセンター 4階
研修室5

(広瀬通と東二番町通の交差点の角。地下
鉄南北線広瀬通駅「西5番出口」から地上
に上がってすぐ右手の建物)

講師◎ 深沢和輝(岡部医院仙台・地域医療
連携室次長、在宅介護支援事業所爽秋会
みのり所長)

テーマ「できますか? 自宅で、最期まで、
自分らしい『在宅医療』」

日本で在宅医療を実現したパイオニアの一
つが岡部医院です。その地域医療連携室で、主
にがん診療等を行っている医療機関から在宅
での緩和医療の依頼を受ける深沢次長。可能な
限りスムーズに在宅に移行できるよう調整する
役割を担う仕事です。在宅介護支援事業所爽秋
会みのりの所長でもあります。

今回は外部講師をお招きしての新春特別企
画です。わが家で、本当に、最期まで、自分ら
しく過ごせるものかどうか…。地域医療連携の専
門家のお話をお聴きし、気になっていることや
疑問点を、とことん尋ねるチャンスです。在宅
医療が、在宅緩和ケアが、より身近に感じられ
る「交流サロン」になることでしょう。

事前予約◎ 先着39人(申し込み順。無料、
どなたでもどうぞ)

リレーエッセイ

「LW(リビング・ウイル)のチカラ②」

死を見つめ確信した「魂は間違いなくある」と

青森県の小枝淳一支部理事(医師。生協さくら病
院(元青森在宅緩和ケア懇話会世話人代表))は、ご
自身の体験から「魂は間違いなくある」と確信した
と述懐します。どのような出来事がそうさせたの
でしょうか。青森市のホスピス病棟の専従医の時の
こと。認知症がすすみ一人娘の顔も名前もわからな
くなった高齢の女性の脳は、これで生きていられる
のかと思うほど萎縮していたそうです。それでも娘
さんは毎日見舞いに来ていました。ある日、突然思
い出したように娘さんの名前を呼んで、それから亡

くなるまでの3日間を、娘さんとの思い出話に花
を咲かせていたとのことでした。

また在宅ホスピスで、最期まで自宅で家族と過
ごせた方は本当に幸せそうで、死に顔も皆さん笑
顔でしたとのこと。病棟で亡くなられた方も、亡
くなったときには笑顔でなくても駆け付けた家族
が優しい言葉やねぎらいの言葉をかけると、徐々
に笑顔に変わっていったのを何度も見たそうで
す。これらのエピソードは、小枝医師に「魂の確かな
存在」を教えてくださいました。「この確信が私の人
生の宝物」との締めくくり。なかなか知ることの
できない、心の震えるような体験を紹介するエッ
セイです。

支部長から

あなたの近くで仲間と
「出前講座」を体験してみませんか

日本尊厳死協会では、人生の最終段階で、私た
ちが自分らしく生き切るための大切な手がかりを
知る機会を広くお届けしています。それが「出前
講座」です。

東北支部では「出前講座のチラシ」を作成しま
した。あなたの地域の町内会、職場の集まり、趣味
やサークル、同窓会などに、尊厳死等に関する「専
門家の講師」を無料で派遣します。お気軽に「出前
講座」のお申し込みをしてください。人生の最期を
自分らしくどう生きたらよいの? 自宅で最期まで
痛みの緩和ができるって本当なの? とにかく「尊
厳死」って何なのかをまずは知りたいな。いまよ
く話題になる「人生会議」って何なの?リビング・
ウイルってどんなこと?

このような、ちょっと疑問に思っていたこと、な
かなか聞けない話などを、皆さまのお近くにお届
けします。開催のためにお願いするのは、会場(会
場費を含む)のご用意だけ。「無料」で専門家があ
なたのお近く、ご指定の場所に伺います。

人生の大事を考える貴重な機会を、あなたのお
仲間と開催してみませんか。まずは、東北支部ま
でお問い合わせください。そのための「出前講座
のチラシ」作成のご案内です。

(支部長 阿見孝雄)

●住所を変更された場合はお知らせください

施設などによって住所を変更される方が多くいらっしゃいます。会報や年会費の請求書などが戻ってきていますので、住所を変更された場合は、すぐに協会に電話かFAX、メールでご連絡ください。3年間、年会費の支払いが滞りますと「自動退会」となってしまいますので、お気をつけくださいますようお願いいたします。

（新型コロナウイルス感染症の対応について）

新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ「5類感染症」に移行したことから、対応は個人や事業者の判断に委ねられることになりましたが、講演会や催し物などへご参加の場合、各支部の「お願い」にしたがっていただきますようお願いいたします。

北海道支部

☎ 0120-211-315 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp

オンライン講演会

日程◎ 1月18日(土)
午後2時～3時半

テーマ「自宅で最期まで過ごすために
準備しておきたいこと」

講師◎ 今井浩平(医師、いまい
ホームケアクリニック理事長)

定員◎ 500人(会員・非会員を
問わず無料)

形式◎ オンライン(ZOOM)

主催◎ 日本尊厳死協会北海道支部

申し込み◎ 北海道支部ホームページ(前日まで)

【講演概要】

多くの方が自宅で最期の時間を過ごすことを望んで
いますが、その実現には適切な準備が必要です。講演
では、自宅で最期まで過ごすためや、自宅での看取り
を考える上での重要なポイントについてお話しします。
具体的には医療・介護の体制づくり、家族や関係者との
意思共有、緊急時の対応策、生活環境の整備など、
在宅医からみて事前に知っておいてほしい準備事項な
どを取り上げます。さらに終末期ケアの心構えや、患
者さん本人と家族が安心して過ごせるためのサポート
体制の構築についても触れ、皆さんが住み慣れた自宅
で最後まで過ごすための実践的なアドバイスをお伝え
できればと考えています。



報道関係者対象の
「尊厳死についての勉強会」

日程◎ 1月28日(火)
午後6時半～8時

会場◎ 札幌エルプラザ4階 大研修室A、B

対象◎ 報道関係者

主催◎ 日本尊厳死協会北海道支部

演題①「人生の最終段階における
医療・ケアの決定プロセスに
関するガイドライン(厚生労働省)
—考え方の変遷とその課題—」

講師◎ 西村正治(医師、日本尊厳死協会
北海道支部理事、
北海道大学名誉教授<呼吸器内科>)

演題②「海外の尊厳死と安楽死の現状」

講師◎ 宮本礼子(医師、日本尊厳死協会理事・
北海道支部長)

質疑応答・討論(30分)。参加費は無料

申し込み◎メールで日本尊厳死協会北海道支部
事務局宛(hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp)。
所属、氏名をご記入の上、7日前までにお申し込み
ください。

ホームページ動画セミナー
(掲載場所 北海道支部ホームページ)

オンライン講演会
(2024年11月16日、100人参加)

テーマ「笑いと人間のステキな関係
～いのちに寄り添う笑いの力～」

講師◎ 伊藤一輔(北海道笑ってもいいんでない会
<日本笑い学会北海道支部>笑司長、
国立病院機構函館病院名誉院長)

参加者からは「笑いの効用や必要性等を知り、大変勉強
になった」などのご意見をたくさんいただきました。

地域のみなさんへ

リビング・ウイル「出前講座」はいかがですか

●ご依頼により講師を派遣します ●会場のご用意をお願いします ●お問い合わせは支部までどうぞ

セミナー in 前橋

日程◎ 1月26日(日) 午後2時～4時
※開場1時半

第1部 トークセッション「リビング・ウイルについて3人の看護師に訊く」

第2部 「もしバナゲーム」体験会

定員◎ 40人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ アクエル前橋 会議室B
前橋市表町2丁目30-8 アクエル前橋2F
(TSUTAYAの2階)
JR「前橋」駅北口(赤城山口) すぐ

オープンフラットの場所でありたい

サロンやセミナーを各地で開催し、こぼれ落ちる参加者の皆さまの想いに触れ、気づきや学びを得ています。胸の奥底にあった想いを、こぼしたくなる、そしてやさしく受けとめ合うあたたかい場所でありたいと願いながら、次の開催地をどこにしようかと企画中です。本年もたくさんの方にお目にかかれたいことを、杉浦支部長はじめ支部理事一同、楽しみにいたしております。よろしくご願ひ申し上げます。

(本部理事・副支部長 田村幸代)

関東甲信越支部

☎ 03-5689-2100 ✉ kantou@songenshi-kyokai.or.jp

サロン in 本郷

「尊厳死」や「リビング・ウイル」について語り合います。ご予約をお願いします。

日程◎ 1月18日(土)、2月15日(土)、
3月15日(土) 午後1時半～3時

定員◎ 12人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 支部事務所 文京区本郷2-27-8
太陽館ビル5階(クローチェ本郷)
日本尊厳死協会内
地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩1分
地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩3分

バナゲーム(カードを使ったゲーム)を通じて、人生において大切な「価値観」や、自身の人生の最終段階の「あり方」についてさまざまな気づきを得るきっかけになればと思っています。

甲府市公開講演会

日程◎ 3月9日(日) 午後2時～4時
※開場1時半

講師1 杉浦敏之(医師、医療法人社団弘恵会
杉浦医院理事長、関東甲信越支部長)

演題1 「リビング・ウイルと人生会議」

講師2 内藤いづみ(在宅ホスピス医師、
ふじ内科クリニック院長)

演題2 「命の輝きを支える、ということ」

定員◎ 90人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ YCC県民文化ホール3階 会議室
甲府市寿町26-1 山梨交通バス
「県民文化ホール前」バス停すぐ

東海北陸支部

☎ 0120-211-315 ✉ tokai@songenshi-kyokai.or.jp

リビングウイル懇話会 in 静岡

日程◎ 2月1日(土) 午後2時～4時半
(受付は午後1時半～)

講師◎ 内田貞輔(医療法人社団
貞栄会理事長、医学博士)

テーマ「最期まで自分らしく
生きるための
在宅医療の役割」



会場◎ JR静岡駅ビル パルシェ7階 第1会議室
静岡市葵区黒金町49(JR静岡駅すぐ)

定員◎ 62人(無料、事前申し込み不要)

テーマ「未定」

※時間はいずれも午後1時半～3時半

会場◎ 青木記念ホール=名古屋市中村区中村
中町3-30(地下鉄東山線中村公園駅から徒歩8分)

定員◎ 20人(無料、事前申し込み必要)

リビングウイル懇話会 in 岡崎

日程◎ 3月1日(土) 午後2時～4時
(受付は午後1時半～)

講師◎ 石黒 剛(医師、いしぐろ在宅診療所)

テーマ「“家で生きる”と訪問診療」

会場◎ 岡崎商工会議所 中ホール
愛知県岡崎市竜美南1-2
(名鉄東岡崎駅からバス10分
「商工会議所」下車。JR岡崎駅から
バス10分「岡崎警察署前」下車)

定員◎ 80人(無料、事前申し込み不要)

各イベントの問い合わせは

☎052-481-6501(平日午前9時～午後6時)

八王子市公開講演会

日程◎ 2月11日(火・祝) 午後2時～4時
※開場1時半

講師1 杉浦敏之(医師、医療法人社団弘恵会
杉浦医院理事長、関東甲信越支部長)

演題1 「リビング・ウイルと人生会議」

講師2 荘司輝昭(医師、医療法人社団在和会
立川在宅ケアクリニック院長)

演題2 「これからの日本の医療を考える
～ACPをふまえて縁起でもない
話をしませんか～」

定員◎ 200人(無料、予約不要、先着順)

会場◎ 八王子市学園都市センター12階
イベントホール
八王子市旭町9番1号八王子スクエアビル
JR「八王子」駅北口より徒歩3分
京王線「八王子」駅より徒歩7分

地域サロン in 調布

日程◎ 1月19日(日) 午後1時半～3時
※開場1時15分

定員◎ 20人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 調布市文化会館 たづくり
学習室 大1002(10階)
調布市小島町2丁目33-1
京王線「調布」駅 広場口から徒歩4分

緩和ケア学び隊

日程◎ 1月28日(火)

講師◎ 大島直也(医師、大島治療院代表、
一般社団法人LINKOS理事)

テーマ「がんでも、ステージ4でも、
欲張って生きる」

日程◎ 3月25日(火)

講師◎ 進藤 丈(医師、大垣在宅クリニック)

遺贈寄付の受け入れ体制充実へ

当協会は、三井住友信託銀行株式会社(以下三井住友信託銀行)と遺贈希望者の紹介に関する協定をしました。今後、当協会宛に専門的な遺贈寄付の相談がありましたら、三井住友信託銀行の財務コンサルタント等専門のスタッフをご紹介させていただきます。

専門家に無料で相談!

近隣店のご案内

0120-977-641

三井住友信託

検索

スマートフォンの
方はこちら



電話受付時間: 平日9:00～17:00 ※最寄りの店舗へお取次ぎいたします。

さいたま市大宮公開講演会 & 「もしバナゲーム」体験会

日程◎ 2月24日(月・祝) 午後2時～4時
※開場1時半

第1部 講演「リビング・ウイルと人生会議」

講師 杉浦敏之(医師、医療法人社団弘恵会
杉浦医院理事長、関東甲信越支部長)

第2部 もしバナゲーム体験会

定員◎ 60人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 大宮ソニック市民ホール9階 会議室906
さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5
JR「大宮」駅西口から徒歩3分

ACP(人生会議)のセミナーを受け、「もしものための話し合い(=もしバナ)」を体験してみませんか。もし

セミナー in 鹿沼

日程◎ 3月23日(日) 午後1時半～3時
※開場1時15分

テーマ「もしバナゲームを体験し、
もしもの時の話をしよう」

定員◎ 12人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 総合教育研究所クリオネ
栃木県鹿沼市貝島町500-1
アイショウプラザ1F
※足利銀行 鹿沼東支店 後ろ
JR日光線「鹿沼」駅から徒歩15分

(補足)「もしバナゲーム」は、緩和ケアや地域・在宅医療に取り組む医師らが立ち上げた一般社団法人iACPが開発したカードゲームです。人生の最終段階に「大事なこと」として人が口にする言葉が記してあるカードを選択します。マイスタープログラムを修了した支部理事が進行をサポートいたします。

松山市公共イベント講演会

日程◎ 2月15日(土) 時間は未定
 会場◎ 松山市コムズフェスティバル
 テーマ「人生の正しいお迎えと準備を
 考える」～もしもの時のために
 「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」～
 講師 山口育子(認定NPO法人ささえあい
 医療人権センター COML理事長)
<https://www.coml.gr.jp/coml-towa/aisatsu.html>

* 詳細は<https://www.coms.or.jp/coms/>をごらんください。その他のイベントも機関誌ならびにホームページでお知らせいたします。

四国支部 活動報告

「看取り士」と僧侶に学ぶ死生観

6月2日、JR徳島駅前のアミコビル内「シビックセンター」で懇談会・講演会を開催。看取り士の小坂

久美子さん(会員)が「看取りとは、いのちのバトンの受け渡し」という演題で話されました。看取り士の役割、看取りの作法、プラスの死生観、映画「みとりし」を紹介。私たちが生まれる時に持ってくる3つのものは「身体」「良い心」「魂」。旅立ちの時、傍らにその魂のエネギー(いのちのバトン=良い心と魂)を渡す、魂のエネギーを受け取る時が看取りの時—とても心温まるお話でした。

11月10日、四国大学交流プラザで公開講演会を開催しました。尊光寺(阿波市)の赤松信映副住職が「仏教の生死観にであう～衆生の苦悩と仏の慈悲～」という演題で話されました。「ブッダとは何か。この世は苦しみであるという現実を知る。苦しみの原因は煩悩・私の心である。苦しみのなくなった境地がある。心豊かな境地に至るための実践。慈悲に出会う」—難しい仏教の言葉を、かみ砕いて分かりやすく話してくださいました。2回の講演に、延べ約90人が参加。皆さんにとって自分なりの死生観を深める貴重な機会になったことと思います。(四国支部徳島副代表 木下英孝)

終活カレッジ in 福岡

日程◎ 2月26日(水) 午後2時半～4時半(開場2時)
 会場◎ 天神ビル10階
 三井住友信託銀行 セミナールーム
 福岡市中央区天神2丁目12番1号
 地下鉄「天神」駅1番出口から徒歩約3分
 テーマ「自分らしい人生100年時代の終活」
 講師1 満岡 聡(医師、日本尊厳死協会理事、
 満岡内科クリニック院長)
 演題1 「リビング・ウイルと意思決定について」
 講師2 横山 直(三井住友信託銀行福岡支店
 上級主席財務コンサルタント)
 演題2 「今から考える 自分らしい終活～
 知っておきたい相続のこと～」
 定員◎ 80人(無料、要予約、定員に達した時点で
 申込終了)
 申し込み◎九州支部ホームページまたはお電話で
 (☎0120-211-315)
 共催◎ 三井住友信託銀行株式会社

おおいた
 第23回市民公開講演会

日程◎ 3月22日(土) 午後2時～3時半(開場1時半)
 会場◎ J:COMホルトホール大分 3階大会議室
 大分市金池南1丁目5-1
 JR大分駅 上野の森口より徒歩2分
 講師◎ 有永信哉(医師、日本尊厳死協会九州支部おおいた副会長)
 演題 「自分らしい最期とは?」
 基調講演
 講師◎ 宮本礼子(医師、日本尊厳死協会理事、
 北海道支部長)
 演題 「やすらかな最期を迎えるために、
 今、わたしたちにできること」
 定員◎ 300人(無料、予約不要、尊厳死協会会員、
 一般市民どなたでも)

市民公開学習会 in 京都

～カードを使ってACPを楽しく学びます～
 日程◎ 2月1日(土) 午後2時～4時
 開場午後1時半
 会場◎ キャンパスプラザ京都6階 第3講習室
 京都市下京区西洞通塩小路下東塩小路町939
 JR京都駅下車 徒歩5分
 定員◎ 40人(無料。申し込みは電話のみ。
 ☎0120-211-315 平日10時～16時。
 定員になり次第、締め切り)
 テーマ「自分の思いを伝える、
 家族等にしてあげたいことを
 考えるためのゲーム」
 「どせばいい?カード」でACPの
 予習をしませんか?
 講師◎ 高橋進一(社会福祉法人
 中央福祉会本部看護師長
 兼 特別養護老人ホーム
 三思園看護主任)



人生の最終段階は、病院ではなく、施設でその人らしいエンディングを迎えられるよう支援する看取りケアを目指す。最後まで諦めず生きることに繋がる看取りケアの mindset は「最後まで諦めずに口から美味しく食べる」。そして「お食い締め」によってナラティブを紡ぎ、

その方の人生を輝かせることにある。さらに2023年5月、ACPの普及目的にクラウドファンディングに挑戦し、目標額150万円を上回る262万円の支援を得て「どせばいい?カード」を作成した。このゲームでACPの疑似体験を広げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す。青森県内を中心に活動し、福島県いわき市、東京都小金井市等でも行っている。

関西リビング・ウイル研究会

日程◎ 3月1日(土) 午後2時～4時半
 開場 午後1時半
 会場◎ 尼崎商工会議所701号会議室
 尼崎市昭和通 3-96
 阪神尼崎駅より徒歩7分
 定員◎ 100人(参加費無料。申し込みは電話のみ。
 ☎0120-211-315 平日10時～16時。
 定員になり次第、締め切り)
 テーマ「もし、『死にたい』と言われたら?
 ～その時、医療者、介護職は
 どうこたえるか?～」

事例紹介を豊國剛大医師(関西支部理事、三和クリニック院長)が行ったあと、関西支部理事が会場に参加したみなさんと対話しながら、本人の希望にこたえるために避けては通れない問題を考えます。

地域セミナー in 広島市西区

日程◎ 2月16日(日) 10時半～12時
 会場◎ 広島市西区民文化センター大会議室C
 講師◎ 辰本将哉(おひさま歯科(広島市中区)院長)
 テーマ「最期まで自宅で～自宅で自分らしく
 過ごすために必要な口腔ケア～」
 誤嚥性肺炎や介護予防・オーラルフレイル予防のために、口腔ケアの重要性をお伝えします。
 定員◎15人

地域セミナー in 廿日市市

日程◎ 3月2日(日) 午後2時～3時半
 会場◎ 廿日市商工会議所 4階会議室
 講師◎ 藤本佳史(JA広島総合病院 痔・胆道内科
 主任部長)
 テーマ「最期まで自宅で～膵がんドックと
 先進治療について。および
 膵がんの緩和ケア～」

定員◎15人
 ※いずれも無料ですが、予約が必要です。予約方法は☎03-3818-6563、またはFAX03-3818-6562、またはメールでお願いします。メールアドレスは上記

市民公開講演会尾道

日程◎ 2月23日(日) 午後1時半～3時半
 午後1時開場
 会場◎ 尾道しまなみ交流館ホール
 テーマ「人生100年時代の生き方・備え方」
 講師◎ 春日キスヨ(臨床社会学者。
 京都精華大学教授、安田女子
 大学教授、松山大学人文学部
 社会学科教授を歴任)
 著書に『長寿期リスク「元気高齢者」の
 未来』(2024年10月刊)、『百まで生きる
 覚悟—超長寿時代の「身じまい」の
 作法』(いずれも光文社新書)他
 定員◎300人(無料、事前申し込み。申し込み方法
 は上記と同じ)



遺贈寄付と 相続寄付のご案内

遺贈も相続寄付も未来への贈り物

「遺贈寄付（ご遺産からの寄付）をしたい」「相続財産から寄付をしたい」との問い合わせが増えてきています。遺贈寄付とか相続寄付とはいったいどういうことなのか、相続税はかかるのか、現金以外でもいいのか？ などについて、わかりやすくご案内いたします。

相続税は？

**相続税は
かかり
ません**



**Q 預貯金や現金以外でも
いいんですか。**

不動産や株式などの遺贈も結構ですが、これも協会にご相談ください。

**Q 遺贈寄付をする場合、
その流れを教えてください。**

まず遺言書の作成が必要です。遺言書には「公正証書遺言」と「自筆証書遺言」があります。自筆証書遺言には「どんな財産があるのか」「誰に、どこに、どれくらい遺贈するか」「遺言執行者を誰にするのか」「どのような思いで遺贈を希望するのか」などを、自ら手書きで文章化しなければなりません。法的に不備がないようにご相談させていただきます。

**Q 最近、「遺贈」って
よく聞きますけれど、
わかりやすく
教えてください。**

「遺贈」とか「遺贈寄付」といいますが、遺言によって財産のすべてか一部を特定の個人あるいは団体などに遺し、社会貢献活動を支援することを言います。亡くなったあと、自分の思いを叶えると同時に、ご自身

**Q 相続税などは
どうなのですか。**

原則として相続税の課税対象にはなりません。詳しくは事前にご相談ください。当協会の担当者からご説明させていただきます。



人生の最終段階における医療選択のための意思決定支援サイト

「小さな灯台プロジェクト」ガイド

大切な人を看取ったそのあとに、看取りのグリーフケア



今回は、夫を看取った直後のどうしようもない悲傷をサイトに
お寄せくださったAさんの体験を「グリーフ（悲嘆の感情）」の、
特に「ショック期」のケアについて考えます。

**夫の突然の死……
これは一体何の罰なのでしょう**

47歳 夫の看取り（Aさん）
がんの治療入院中に夫が脳出血で尊厳死しました。前日も、これからの抗がん剤治療に向けて坊主にし、普通に話もしていたのに……。嘔吐、痙攣、発熱で苦しそうな夫をみて泣き叫びたかった心をおさえ「大好きだよ、また会おうね、ありがと」と声をかけ続け、頭をなで、息を引き取りました。これは一体何の罰なのか、何にすがっていいのかわからずにあります。一人でいることができず、夫が亡くなった日から友人宅に泊めてもらって話を聞いてもらっていますが、夫が死んでいく時の様子が頭に浮かび、眠ることも食することもできません。明日は病院の医療チームから説明を聞く日なのですが……。

**看取りの時必要なのは
無条件の受容！**

死亡宣告を受けた直後のショックは、看取りを経験する誰もが避けて通れません。そして「死別の哀しみ」の中でも「伴侶を亡くす悲嘆の感情」が最高位の哀しみであること、悲嘆の感情には直後のショック期から立ち上がるまでに誰もが踏むプロセスがあることが、多くの研究で明らかになっています。

この哀しみの海にいる時、一人でもがいては溺れてしまいます。この時こそ助けてくれる人が必要です。溢れる感情をひたすら聴き、無条件に受容してもらうことが大事です。Aさんが、一人にならず、友人を頼り、話を聞いてもらい、さらに「小さな灯台」にその気持ちを送るといふ行動を起こして

くださったのは見事な対処でした。
**哀しみの渦中にある人に
"I'm here for you"と言える
寄り添い人に**

グリーフケアには様々な専門家がいますが、Aさんのように危機的状況におちいった直後は、専門資格のあるなしより、同じ体験をした共感者の具体的な助けこそが有効です。とはいえ、自らの傷が癒えないうちに人助けは無理なことも事実。ショック期の人に寄り添うには知識も勇気も必要です。今は、自分の悲傷を十分に哀しみ、寄り添ってくださる人を頼りましょう。

「小さな灯台」にアクセスしてください
「小さな灯台」にアクセスして
誰かに「I'm here for you」と言ってあげられる寄り添い人になれる日がきますように。

**Q 相続財産からの寄付も
関心が高まっていますね。**

相続人の意思で、故人より引き続きだ財産から寄付することを言います。相続財産を相続税申告期限内（亡くなった日の翌日から10カ月以内）に寄付をし、税務署に申告することにより、寄付財産は相続財産から控除され非課税となります。

**まず協会に
ご連絡
ください**



【本部連絡先】
TEL : 03-3818-6563
FAX : 03-3818-6562
メール : info@songenshi-kyokai.or.jp

ご寄付ありがとうございました (敬称略)

ご寄付いただきまして誠にありがとうございました。対象は令和6年9月1日から令和6年11月30日までにご寄付いただいた方々です。職員一同深く感謝します。普及啓発事業等に有効に活用させていただきます。

青木 安弘	8,700	中島 千代子	10,000	ペンネーム 「ナカシマノブコ」	20,000	匿名・東京都	100,000
秋山 孝	2,000	行谷 愛子	1,700		匿名・神奈川県	30,000	
池田 尋子	10,000	西村 信子	20,000	匿名・北海道	1,000	匿名・神奈川県	3,000
岩崎 俊子・晶子	1,000,000	橋本 正身	50,000	匿名・北海道	50,000	匿名・神奈川県	100,000
小谷 智子	50,000	藤實 道子	20,000	匿名・北海道	3,360	匿名・岐阜県	8,000
齊藤 登	50,000	星野 登志子	10,000	匿名・東京都	809	匿名・滋賀県	8,000
櫻井 初子	4,000	本田 崇	3,000	匿名・東京都	1,223	匿名・滋賀県	3,300
笹原 求馬	100,000	増田 成子	10,000	匿名・東京都	50,000	匿名・京都府	20,000
佐藤 喜美子	100,000	水谷 悟	10,000	匿名・東京都	10,000	匿名・兵庫県	9,000
佐藤 健次	4,500	矢崎 利昭	50,000	匿名・東京都	30,000	匿名・広島県	10,000
佐藤 督	20,000	ペンネーム 「I・N」	3,000	匿名・東京都	1,230	東北支部扱い 匿名	800
杉浦 純子	10,000			匿名・東京都	2,153		
祐川 かつ	4,833	ペンネーム 「おいちゃん」	10,000	匿名・東京都	50,000	山名 康子	10,000
関根 健夫	200,000			匿名・東京都	2,400		
田畑 芳彦	50,000	ペンネーム 「愛知県 豊川市」	30,000	匿名・東京都	50,000		
友本 則子	10,000			匿名・東京都	500,000		

寄附金領収書発行についてのお知らせ

- 当協会への寄附金と会費は、**確定申告により税制上の優遇措置が受けられます。**
 - 当協会は、税額控除対象法人として認定を受けています。これにより、確定申告の際に「税額控除」と「所得控除」の有利な方を選択いただけます。
 - 本部が所在する東京都にお住まいの方は、個人住民税の寄附金控除も受けられます。
- 領収書の発行
 - 寄附金受領証明書(領収書)の発行は、寄附金と会費の合計が10,000円以上の方とさせていただきます。以外の方でも必要な方には個別に発行いたしますので、本部事務局(03-3818-6563)までご連絡ください。
 - 寄附金受領証明書(領収書)は、令和7(2025)年1月下旬をめどに郵送いたします。

リビング・ウイル受容協力医師

第118報

2024年9月～2024年11月の間に新しく登録なされた医師の方々です。

内:内科 循:循環器科 呼:呼吸器科 消:消化器科 呼内:呼吸器内科 消内:消化器内科 外:外科 整:整形外科 小:小児科 放:放射線科
リハ:リハビリテーション科 皮:皮膚科 肛:肛門科 泌:泌尿器科 心内:心療内科 脳外:脳神経外科 緩和:緩和ケア科 神内:神経内科 老内:老年内科
麻:麻酔科 精:精神科 肝内:肝臓内科 アレ:アレルギー科 脳内:脳神経内科 訪:訪問診療 看:看とりにしている

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
東苗穂病院	総内・訪・看	星野 拓磨	北海道札幌市東区東苗穂3条1丁目2-18	011-784-1121
みどりの里リバータウンクリニック	内・訪・看	横田 崇	北海道旭川市旭神2条3丁目6番25号	0166-66-0766
網走記念病院	内・看	杉原 充	北海道網走市字潮見153番地1	0152-61-0101
釧路こうわクリニック	内・循内・糖内・訪・看	小笠原 惇	北海道釧路郡釧路町光和 2丁目22番地	0154-64-1207
伊藤医院	内・小・整・漢内・訪・看	伊藤 伸一	秋田県由利本荘市中田代字板井沢114-7	0184-67-2321
ちとせクリニック	在宅・内・緩和・神内・整・皮・眼・耳鼻・訪・看	金井 文彦	東京都世田谷区南烏山4-9-14 南烏山ビル	03-5315-3363
ちとせクリニック	在宅・内・緩和・神内・整・皮・眼・耳鼻・訪・看	松本 史郎	東京都世田谷区南烏山4-9-14 南烏山ビル	03-5315-3363
ちとせクリニック	在宅・内・緩和・神内・整・皮・眼・耳鼻・訪・看	宮本 孝英	東京都世田谷区南烏山4-9-14 南烏山ビル	03-5315-3363
ちとせクリニック	在宅・内・緩和・神内・整・皮・眼・耳鼻・訪・看	佐藤 俊	東京都世田谷区南烏山4-9-14 南烏山ビル	03-5315-3363
ちとせクリニック	在宅・内・緩和・神内・整・皮・眼・耳鼻・訪・看	山下 健太郎	東京都世田谷区南烏山4-9-14 南烏山ビル	03-5315-3363
恵泉クリニック	総合・訪・看	太田 祥一	東京都世田谷区上祖師谷1丁目35-15	03-3326-5408
三浦市立病院	内・訪・看	東 博敏	神奈川県三浦市岬陽町4-33	046-882-2111
ゆう在宅クリニック旭	内・訪・看	三橋 祥太	神奈川県横浜市旭区二俣川1-67-4 YAMAKI二俣川1階	045-489-9001
のぞみの花クリニック	内・外・訪・看	古賀 友之	千葉県柏市布施1213-4	04-7192-6180
印西総合病院	内・訪・看	稲垣 俊一郎	千葉県印西市牧の台1-1-1	0476-33-3000
上尾ハートクリニック	内・循内・腎内・訪	島岡 哲太郎	埼玉県上尾市春日1-4-22	048-871-7348
佐賀県医療センター好生館	麻	池田 智子	佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400番地	0952-24-2171
佐賀県医療センター好生館	リハ	山之内 直也	佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400番地	0952-24-2171
天陽会中央病院	循・訪・看	厚地 伸彦	鹿児島県鹿児島市泉町6-7	099-226-8181
医療法人安心会 愛聖クリニック	内・訪・看	中田 安彦	沖縄県沖縄市高原5丁目15-11	098-939-5114

【お詫びと訂正】194号22ページの太田医院の電話番号は072-236-6333が正しい番号でした。
195号24ページのひらまつ在宅クリニックの住所は小城市三日月町の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

【LW受容協力医師についてのご案内】

全国に2,000人以上が登録しているLW受容協力医師のお名前や医療機関名は、協会ホームページで閲覧することができます。都道府県を指定して検索する方法と、地図から検索する方法の2通りが可能です。紙に印刷したリストをご希望の方は、ファックスか郵便でお送りいたしますので、本部事務局までご連絡ください。

● LW受容協力医師をご推薦ください

会員のみなさまの不安として、周辺に受容協力医師がいないことがあるかと思えます。そうした不安を少しでも和らげるため、本部では、みなさまのかけつけ医師をご紹介いただければ、その医師に「LW受容協力医師の登録」をお願いします。
会員の方の①お名前、②会員番号、③お電話番号、④かけつけ医師のお名前(病院名)・住所・お電話番号を、本部「受容協力医師担当」まで、電話、ハガキ、手紙、FAXまたはメールでお知らせください。

当協会へのご寄付は、税額控除の対象となり 約40%が所得税額から控除されます。

〈ご寄付の方法〉

- 郵送先等 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8太陽館ビル501 公益財団法人日本尊厳死協会
- 銀行振込 三菱UFJ銀行神田支店 普通預金 0048666
- クレジットカード ホームページに、入力フォームがあります。
- その他 寄付専用の郵便振込用紙もあります。

電話、メール、FAX等でご請求いただければ郵送致します。

※ご寄付で「匿名」を希望される場合は、お名前と「匿名希望」を必ずお書き添えください。

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562
メール
info@songenshi-kyokai.or.jp
ホームページ
https://www.songenshi-kyokai.or.jp/

●北海道支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●東北支部

〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-12-39
旭開発第2ビル703号室
TEL 022-217-0081
FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海北陸支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●関西支部

フリーダイヤル 0120-211-315
〒669-1529
兵庫県三田市中央町15-43
たなかホームケアクリニック
なんでも相談所内

●中国地方支部

フリーダイヤル 0120-211-315

●四国支部

〒760-0076
高松市観光町538-2
あさひクリニック内
TEL 087-833-6356
FAX 087-833-6357

●九州支部

フリーダイヤル 0120-211-315

各支部HPへのアクセスは
本部HPからのリンクをご利用ください。
※お電話は平日午前9時半～午後5時。

リビング・ウイル

—Living Will—

(人生の最終段階における事前指示書)
(2022年11月改訂版)

この指示書は私が最後まで尊厳を保って
生きるために私の希望を表明したものです。
私自身が撤回しない限り有効です。

- 私に死が迫っている場合や、意識のない状態
が長く続いた場合は、死期を引き延ばすため
だけの医療措置は希望しません。
- ただし私の心や身体の苦痛を和らげるための
緩和ケアは、医療用麻薬などの使用を含めて
充分に行ってください。
- 以上の2点を私の代諾者や医療・ケアに関わ
る関係者は繰り返し話し合い、私の希望をか
なえてください。

私の最期を支えてくださる方々に深く感謝
し、その方々の行為一切の責任は私自身にある
ことを明記します。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わりが近づいたら延命措置を望まないで、自然の摂理にゆだねて寿命を迎えるご自分の意思を表した「リビング・ウイル」を発行、その普及に努めています。

現在約8万人の方々「リビング・ウイル」を持ち、安心して日々を送っています。自然のまま寿命を迎えることは、最期の日々をよりよく生きることであり、今を健やかに生きることにつながります。

お友だちやお知り合いに協会や「リビング・ウイル」のことをお伝えいただければと願っています。

事務局から

会費の自動払込のご案内 希望者はこちらご連絡ください

年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から自動引き落とし)があります。利用には諸手続きが必要です。ご希望の方は本部事務局までご連絡をお願いします。次の要領で実施しております。なお郵便局窓口では申し込めません。

- 対象 ▶ ご希望の会員
- 払込日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
- 払込額 ▶ 会費相当額
- 手数料 ▶ 1回の払込に165円(150円+税)のご負担があります
- 取扱 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、金融機関 ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領収書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷してあります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も記入して下さい。なお振込手数料は郵便局窓口で通帳なら203円、郵便局ATMが152円、コンビニが110円です。



今号の1枚
「厳寒にひらく」

●「LWのひろば」は、この会報のなかで唯一、会員の皆さんと協会とをつなぐ、細かいけれど貴重な「窓」といいでしょう。まさに「ひろば」のサブタイトルにある「思いは同じ」仲間が全国に「を感じさせられます。寄せられた投稿の1つ1つを読みながら、背筋がピンと伸びてくる思いで原稿をまとめています。今号の「一人暮らしの日々」の野崎さんは91歳。詩人・茨木のり子さんの詩「急がなくては」の一節を口ずさみつつしたためたこと。「リビング・ウイル」を心の支えといたしつつ、老いて心の闇をになわず、しらじらと明けゆく夜をよろこび…と。ご高齢の一人暮らしの方、孤独に介護の日々を送る方、病床で自らを見つめ続ける方々…。日本のすみずみに、息をひそめるように日々を送っている、こうした多くの方々の姿が「ひろば」から伝わってきます。今、日々は「孤独と寂寥の海」かもしれませんが、野崎さんの「しらじらと明けゆく夜をよるこび」の一節に、ほのかな光を感じます。(郡司)

※表紙の下方にQRコードを付けたので、ご利用下さい。

Living Will 目次

— 会報2025年1月 No.196 —

- 02 年頭所感
- 04 「死の権利協会世界連合ダブリン大会」レポート
- 06 「世界連合東京大会」に向けて
- 09 私の希望表明書
- 11 連載・電話・メール医療相談から
- 12 LWのひろば
- 14 連載「四季の歌」雪の降るまちを
- 16 支部活動・報告
2025 冬～春
- 22 遺贈・相続寄付のご案内
- 23 「小さな灯台プロジェクト」ガイド
- 24 LW受容協力医師のリスト
- 25 寄付された方々
- 26 事務局から／編集後記／目次
- 27 人生の最終段階における
事前指示書／本部・支部一覧
裏表紙 出版案内

協会会員：7万7520人
(2024年11月30日現在)

次号は、
2025年4月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

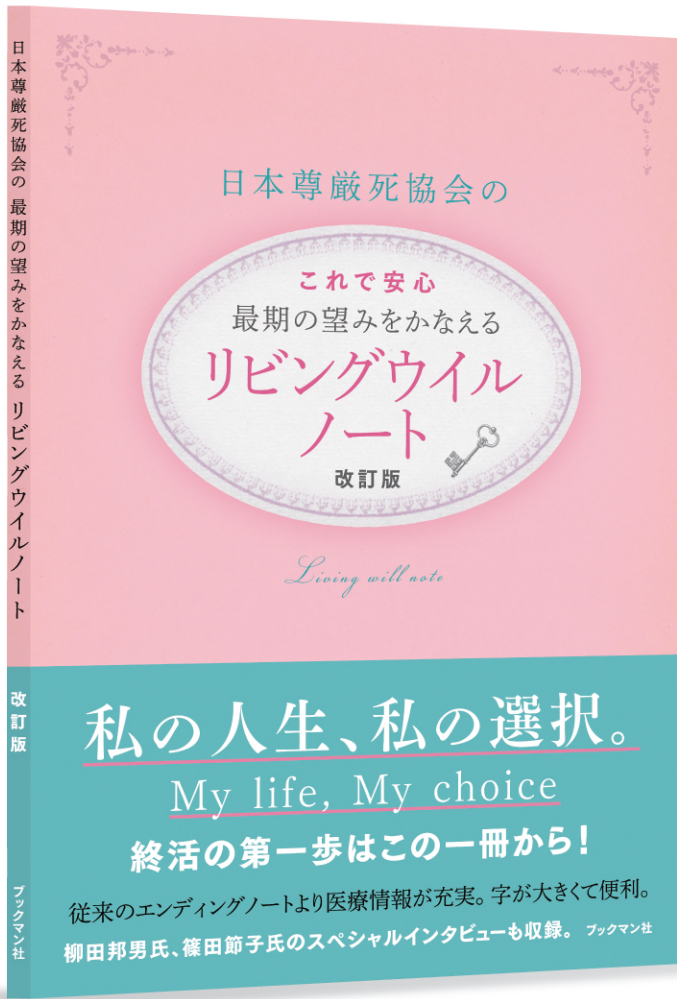
日本尊厳死協会の出版案内

好評
発売中!

最期の望みをかなえる

リビングウイルノート

最期まで「自分らしく生きる」がここに 있습니다。



主な内容

- 尊厳死協会の会報「Living Will」のインタビューに登場された作家の篠田節子さん、柳田邦男さんの名言を再録。
- 知っておきたい在宅医療の始め方、緩和ケアの大切さのほか延命措置やACP(人生会議)など医療情報の解説や尊厳死協会の役割、尊厳死と安楽死の違い、さらに「私の病気の記録」や「もしもの時の確認メモ」(健康保険証や基礎年金の番号など)、「終末期の最期の過ごし方の希望」「食べることができなくなった時の希望」……など、書き込むページや欄もたくさん詰まった **エンディングノートの決定版**。
- 「旅立ったあとで～大切な人へのメッセージ」や「旅立つ前に会っておきたい人」、「葬儀に呼んでほしい人」を書き込むリストの欄も充実

発行: ブックマン社
定価: 1300円(税別) A4判104ページ

この「リビングウイルノート」には、
あなたの「リビング・ウイル」を入れるスペースがあります。
是非お手もとにセットで!!
もしもの時にそなえ、こころの「生前整理」を

協会事務局でお求めできます。1300円(税・送料込)。書籍名、お名前、住所、会員の方は会員番号を明記。
代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に。